

月24日

拝呈。増訂日本博物学年表六〇頁に

元禄十二年西京園丁某「千代見草」三巻を作り

上木すとあり。

是は何の事を述のべたるものに候や。蔵玉集は菊の事を

千代見草と異名するやう書きあり。又松をも千代

見草といふ様になにかにて読み申候。

右の一書は何に就てかき述たるものに候や。御高教をまつ。

早々敬具

小生十七七八六七才の時（明治十七八年）東京図書館にて

見し上野博物館の後に博物局とかいふか有しそれより出せる博物雑

誌とか

二十冊不足たらず（挿入ばか…十冊斗りかたしかに覚えざ）ありし。それに小

野職もじよし愨し氏の玉川辺にて木兔うさぎ網を見た記事

ありし。この雑誌は貴殿御覧になりしことありや。博物学年表には名も出居いらず。

本邦にて博物学専門の雑誌としては尤も早きものと

存候。